

# salut

## VOL.105

おのれを愛すべきものと知らば、  
おのれを悪に結ぶなかれ。  
『阿含経』



【サリュ】…フランス語で「救い」の意

<b>應典院寺町倶楽部主催事業</b>	<b>エンディングセミナー2016</b> <b>もうひとつの「終のすみか」</b> ～ホームホスピスから家族・地域を考える～ あなたはどこで人生の最期を迎えたいですか。病院でもない、施設でもない、自宅でもない、最期の場所。住み慣れた地域で、ふだんのまま「その人らしく」人生を全うする。大和地方に生まれて間もないホームホスピスを舞台上、暮らしの中の生と死について語り合う。 <b>9月24日(土)14:00～16:30</b> 第一部 講演 奈良県初のホームホスピスを今年4月に立ち上げた櫻井徳恵さんによる講演 第二部 対話 セッション「〈生死のある暮らし〉を考える」 ゲスト/ 櫻井徳恵(NPO法人みぎわ副理事長) 浦嶋偉晃(奈良県のホスピスとかん医療をすすめる会会長) 秋田光彦(浄土宗大蓮寺・應典院住職) 参加費/一般¥1,000 應典院寺町倶楽部会員・学生¥800 会場/大蓮寺(大阪市天王寺区下寺町1-1-30) 問合せ/應典院寺町倶楽部事務局 TEL 06-6771-7641	<b>應典院寺町倶楽部協力事業</b>
<b>いのちと出会う会</b> 毎月第3木曜日(8月・12月・1月休会) <應典院研修室> 参加費/一般¥1,000 應典院寺町倶楽部会員・学生¥700(お茶菓子付き) <b>9月15日(木)18:30～20:00</b> 第152回「私にとっての奇跡」 話題提供者: 飯田明美さん(株式会社ユニバース、宴会場味園 元支配人) 映画「味園ユニバース」で話題になった大阪ミナミ千日前の老舗宴会場「味園」。その女性支配人に志願されて営業成績を記録づくめでV字回復させた伝説の飯田支配人。しかしそれまでは家庭環境や営業で苦勞の連続。むち打ち症や対人恐怖症で悩み、母上の認知症介護、養子の子どもの面倒…。しかし今は両親にも味園の社長にも感謝され、人生の幸せに気づいて「今が青春」と言われる体験談をお聞かせします。 <b>10月20日(木)18:30～20:00</b> 第153回「失意のどん底からの復活」 話題提供者: 百田達人さん(有限会社大千 モモちゃん急便 代表取締役、トーク番組「ぼちぼち行こか〜」主宰者) 16歳で島田紳助に弟子入りして漫才師になるが頓挫。その後結婚したが離婚によって子供と離れて暮らすことが苦しくて、何のために生きて行くのかわからなくなり自暴自棄に。怒りに震えていたその心を洗い流すため100日間の遍行を続けた。昔の漫才の相方に再会し、一緒にYouTubeでトーク番組を始め、多くの人の人生を紹介して、夢や希望を持てる明るく元気な世の中を作ると言う生きる希望が湧きました。	<b>應典院寺町倶楽部共催事業</b>	
	<b>第3回大阪短編学生演劇祭</b> 短編(30分以内の作品)を上演する大学生を中心とした演劇祭。昨年から、高校演劇部も参加しています。 <参加劇団> 現速劇場 劇団カマセナイ 劇団日曜座 劇団梵人 精華高校演劇部 ハフォーマンスユニット くらずこんび <b>9月17日(土)11:00/17:30</b> 18日(日)12:00 料金/学生予約¥1,700 学生当日¥1,900 一般予約¥2,000 一般当日¥2,200 問合せ/students.short.play.fes@gmail.com	
		<b>大阪吃音教室</b> 吃音を治すことよりも、吃音と上手につき合うことを目指します。毎週金曜日に、実技ワークショップや講義など様々な形式で開催しています。 <b>9月 2日(金) 18:45～21:00</b> 9日(金) 18:45～21:00 16日(金) 18:45～21:00 23日(金) 18:45～21:00 10月 7日(金) 18:45～21:00 14日(金) 18:45～21:00 21日(金) 18:45～21:00 28日(金) 18:45～21:00 参加費/¥300(初回のみ¥2,000) ※「吃音を考える会」竹内敏晴さんから学んだ、からだごとへのレッスン」 <b>10月2日(日)10:00～17:00</b> 参加費/OSP会員¥300 未会員¥1,000 会場/研修室B 問合せ/072-820-8244(伊藤)
		<b>ポタラ・カレッジ</b> グライ・ラマ法王直系の正統なチベット仏教を日本国内で本格的に学び実践するため、その拠点として設立された団体です。チベットの伝統教学に則した立場を堅持しながら、現代日本の状況に合わせた分かりやすい講習を行っています。 <b>9月25日(日)11:00/14:00</b> <b>10月23日(日)11:00/14:00</b> 参加費/ ¥3,000 会場/研修室B 申込み/http://www.potala.jp 問合せ/03-3251-4090(ポタラ・カレッジ東京センター)

<b>應典院公演情報</b>	<b>空∞羽</b> 「ネジレバネ」 <b>9月 9日(金)19:30</b> 10日(土)14:00/19:00 11日(日)13:00/17:00 料金/前売¥3,000 当日¥3,500 問合せ/090-1152-2100(樹田)	<b>もめんじスペース</b> 『Reading Exhibition vol.30』 <b>9月23日(金)18:30</b> 24日(土)15:00 料金/¥2,500(前売・当日共) 問合せ/075-983-3608 (officeもめんじ)	<b>関西大学劇回万絵巻</b> 「最果てクロニクル」 <b>10月15日(土)時間未定</b> 10月16日(日)時間未定 料金/前売一般¥1,000 前売学生¥600 当日一般¥1,200 前売学生¥800 問合せ/090-4767-1591(イリエ)	<b>山尾企画</b> 「ドラゴンはまだ唄わない」 <b>10月22日(土)15:00/19:00</b> 23日(日)12:00/16:00 料金/一般¥2,500 大学・専門学生¥2,000 高校生¥1,500 問合せ/yamaokikaku@yahoo.co.jp	<b>劇団寺劇屋</b> 『独鬼』 <b>10月28日(金)16:00/20:00</b> 29日(土)13:00/16:30 /20:00 30日(日)13:00/16:30 /20:00 31日(月)14:00/18:00 料金/前売一般¥3,000 前売学生¥2,000(要学生証) ※当日券は200円増 問合せ/080-6188-2546(劇団携帯)
----------------	---	--	--	--	--

outen in 應典院寺町倶楽部 TEL:06-6771-7641 FAX:06-6770-3147 info@outenin.com http://www.outenin.com

應典院寺町倶楽部は1997年5月に発足し、非営利市民活動の基盤づくりと活性化を促し、コミュニティの健全育成を図り、創造性ゆかたな地域社会の発展に寄与することを目的に活動しています。寺院空間を活用した文化・芸術活動のサポーターでありパートナーである方々の参加を広く呼びかけ、随時入会を受け付けています。(会費・寄付は郵便振替口座「00900-2-122125」へお願いします)

〔編集後記〕  
 應典院の本寺である大蓮寺にて、今年もお盆棚経を勤めさせていただきました。時として、私たちの人生には想像を絶するほどの悲しみが訪れます。生きることを単なる「負け戦」に捉え物語を伝えていかねばならないと、改めて考えさせられました。南無阿弥陀仏。(秋田)  
 暑いお盆が過ぎると、月夜の美しい季節が巡ってきます。小さな頃、インドのジャータカ物語から今昔物語へと流伝された、月に住む鬼の仏教説話を聞いて、小さな胸が痛んだことを、ふと思いつく頃です。(齋藤)  
 あつと言う間に、2016年もあと4ヶ月しかありませんね。日々時間の流れが以前より早くなっている気がします。残り4ヶ月ですが、應典院では大阪短編学生演劇祭からエンディングセミナーまで、まだまだ様々な企画が盛りだくさんです。是非とも足をお運びください。(森山)  
 宗教とはなにか、この問いを考えると、先日、應典院スタッフで他宗教を学びに行きました。他の宗教に触れることで、別の角度から物事を見て得られる気づきがありました。この気づきを、今後の應典院の事業にも活かしていきたいと思います。(角思)  
 オリジナルを見ていて、スポーツは不思議なあと、つくづく思う。競技のルールが決まるまでの経緯を知りたくなる。民族性が関わってくるのだろうか。そして、アートとスポーツは重なり合っているのではないかと思う。生きることの息吹を存分に感じさせてくれる。あ、また日本がメダル獲得や。(沖田)



去る7月8日、2017年度以降の当会の運営を検討する「新運営検討会議」が開かれました。来年4月に應典院再建20周年を迎えるにあたり、組織運営体制の大幅な刷新を検討しています。これまで以上に開かれた場として、現代のお寺の機能を果たしていくために何ができるのか、先日の「会員のつどい」で承認された、専門委員会を中心としたメンバーが集まり、事務局とともにさまざまな議題について意見を交わしました。

根本から問いなおす  
應典院寺町倶楽部を

去る7月18日、秋田光軌事務局長と齋藤佳津子事務局次長が奈良県の「ホームホスピスみぎわ」を訪問し、NPO法人みぎわ副理事長の櫻井徳恵さんに面会させていただきました。櫻井さんをメインゲストにお招きして9月24日に開催する「エンディングセミナー2016」に向け、日々の暮らしの様子や宗教的なバックボーンなど、さまざまなお話を伺うことができました。



当日はホームホスピスについて考えることを通じて、家族や地域について、また、生活の根底に流れる宗教性について深められる時間となるよう準備を進めてまいります。たくさんの方のご参加、お待ちしております。

暮らしの中の生と死を語る

演劇を通じた学び合いの場



7月21日から8月2日まで、Highschool Play Festival(HPF)2016が開催され、今年も應典院に高校生演劇の熱気溢れる季節を迎えました。参加校は総勢25校、ウイングフィールドや吹田メイシアターとも連携し、應典院では11校が連日公演を行いました。

舞台美術や音響、照明にいたるまで、高校生が自ら考え、取り組み、持てる力を出し切って表現に挑んだことで、未来につながる学びが得られたのではないのでしょうか。今後、彼らを支えるスタッフの側も多くを気づかされるような、成長と共有の場でありつづけることを願っています。



所  
Report

人間を見つめる営みが  
寺院という場を育む

詩で死を思う一夜

2001年以来、詩人の上田假奈代さんが取り組まれている「詩の学校」は、市民がそれぞれ生活へ還元する表現活動を行うことを主眼に、毎月應典院を会場にして長く親しまれています。去る8月4日に、こちらも今年のお盆特別編「それから」一度のお盆特別編「それから」大連寺・應典院にて開催しました。お盆という季節柄、〈詩〉を通して死に触れる一助となれば、事務局も共に場づくりにあたっています。はじめに大連寺本堂で読経を勤め、秋田光彦住職によるお盆についての法話の後、一人ひとりが墓地に移動して詩作に取ります。真つ暗闇の墓地にぼつりぼつりと微かな光の空間が生まれ、その中で参加者が想いを巡らせる様子は、大変美しい光景となりました。頃合いを見て墓地の一角に集合し、できあがった詩を朗読する機会を持つと、亡くなった知人に想いを馳せる人、後悔や自責の念を吐露する人など、時に涙でことばに詰まりながらも、自由なスタイルで心に響く朗読がなされました。

それぞれの方法を通じて

現在、「詩の学校」をはじめ、應典院と特に関わりの深い4つの事業については、應典院寺町倶楽部協力事業として位置づけをさせていきたいと考えています。

まずは、大阪スタタリングプロジェクトの伊藤伸二さんを中心に、毎週金曜日の夜に行われている「大阪吃音教室」。吃音を治すのではなく〈吃音と上手に付き合う〉ために、より良いコミュニケーションを探る講座や、自己他者への気づきを促す講座を行っています。回によって、補佐教やアドラー心理学から学ぶなど、吃音ではない方にも多くの発見がある内容です。

そして、毎月第4日曜日に開催されている「ボタラ・レッジ」は、チベット仏教の伝統のおしえを、分かりやすい日本語で学ぶことができます。講習会です。クンツツク・シバルさんの講義は、ツォンカパ大師の『真言道次廣論』など、入門者には簡単なテキストを丹念に紐解きながら、人が生きる上での苦の

減却をチベット仏教の見地から伝えてくださいます。最後は、應典院研修室Bに場を移し、全員で歓談しながら交流を深めました。次回の「詩の学校」は、同じく研修室Bにて9月14日夜に開催される予定です。

紙でもお伝えいたします。詩を吃音・チベット仏教と異なった立場からいって見つけた立派な営みや、劇作家の岸井大輔さんが、シェイクスピア「ロミオとジュリエット」やイブセン「野鴨」など、これだけは読んでおきたい戯曲を選定し、参加者の感想も交えながら3時間におわたってお話されます。戯曲が歴史的に培ってきた物語の型からは、人間の本性をも知ることができるとも思っています。不定期開催のため、第5回「ギリシア悲劇」の開催日



は未定ですが、決定したい本紙でもお伝えいたします。

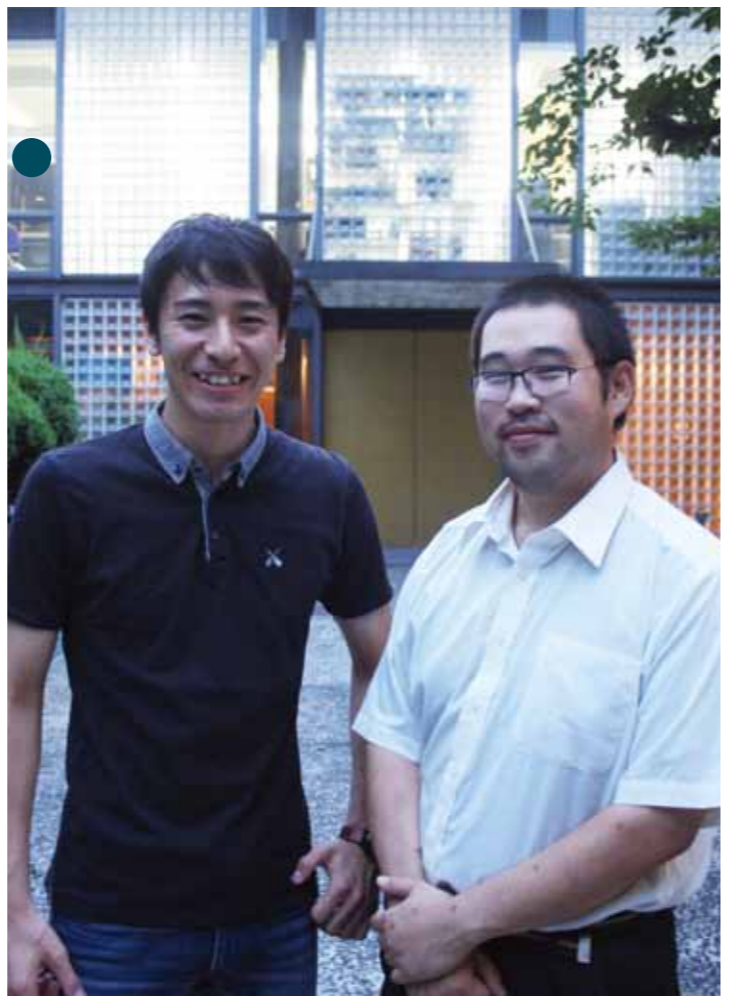
曲と異なった立場からいって見つけた立派な営みや、劇作家の岸井大輔さんが、シェイクスピア「ロミオとジュリエット」やイブセン「野鴨」など、これだけは読んでおきたい戯曲を選定し、参加者の感想も交えながら3時間におわたってお話されます。戯曲が歴史的に培ってきた物語の型からは、人間の本性をも知ることができるとも思っています。不定期開催のため、第5回「ギリシア悲劇」の開催日

Interview

中川真一さん(遊劇舞台二月病 主宰)  
松原佑次さん(遊劇舞台二月病 主宰)

想いを放ち、観客の心に問いかける。実在の事件を多様な視点で見つめ、生きることの希望を伝える社会派劇団。

窓...



この6月、20年の歴史に幕を閉じた應典院舞台芸術祭 space x drama 2016で、最後の「優秀劇団」に選出された「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。



▲space x drama2016参加公演「LEFT〜橋名ベース到れる〜」(2016年5月=本堂ホールにて)

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのような舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのような舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのような舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのような舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのような舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」

「演じる側として、は実際の事件に解決

「遊劇舞台二月病」は、被差別部落問題や子ども置き去り事件など、社会的主題を扱って当事者の苦悩を描きつつ、今回、演出を務める中川真一さんと、役者の松原佑次さんの二人にお話を伺った。

space x dramaに参加していかげんか、松原(以下M) やっと充分に準備できる環境が整ったのが今回でした。念願の参加だったので、優秀劇団に選ばれてうれしかったです。

中川(以下N) アイデアを味深く、他の劇団の集客力に圧倒されたりと、刺激的でした。公演では連合赤軍の事件を扱いましたが、当時を知る人に見てもらえたことも感慨深かったですね。

「演劇をはじめたきっかけはどういうものでしたか。」

「どのよう舞台上で演劇に臨んでいらっしゃるのでしょうか。」